



磐城日報
社
福島縣小名浜町落合51
電話3.871
番
編集人
長 芳 郎

古河町定例議會

町税條例の一部改正も可決

四倉町議会は十八日前で工費は百十七万円、三九時より役場議室に於ケ月で完成の予定であるて開かれ、かねて磐城セメント会社と接觸中で、また國道舗装工事に使

用するセメント八千袋の寄附の代價として會社に對し全町鬼越地内二町反一畝、今北向地内二町六反、畠の凝灰岩質粘土を提供する件を協議決定した、また町税條例の一

部改正を可決、その結果

三十六年度に比較して負

担額が四十七万一千円減

次いで失業対策救済事業として町内地引の境川の川幅を七、五米に改修をなすことに決定した。

境川は片側道路であるがこの工事によつて延長百八十米、兩側六米の農道

をかねた道路となるもの

とて町内地引の境川の

橋となつた。

次いで失業対策救済事業として町内地引の境川の

橋となつた。



廿一日より三日間

金美館

「人間タンク」現れる

高血壓のためあたら人生の仕上期を脳溢血その他類似疾患に襲はれて失命したものは近くは鶴木前平市長はじめ全国夥しい数に上っているが、この高血壓患者は新機軸を生み出し驚異的臨床効果に「高血壓恐れるに足らず」と從来患者の高血壓に對する恐怖觀念を一舉に吹つ飛ばしている。

若き醫學博士がある

平駅前通り白銀町和田醫

院主和田浩美氏がその人

で同患者を扱うことす

に四千余名その間一名の

死者を出さず的確な治

療効果を挙げた同患者

の讃仰の療法とは何か和

田博士に世論の眞諦を聞

く(寫真は和田博士)

この療法はアメリカ醫

學界のドットライン氏

により發見され、日本

では大阪大學の布施教

がレンガを左手に乗せ

打ちつけたり、焼け火箸

きない皆様おなじみの良

い地心に目醒め

た全地内の吉田ニキ子

(二)ちゃんは茨城県東

部を繕かれて永井醫院に收

容して手當を施したが全

て四十日の中傷である

江名町永崎大平トラック

船会社トラック運轉手

一等一名五千円(相

二等百名二百円

三等十名五百円

四等五十名二百円

五等百名千圓

二等五名千円

三等十名五千円(相

一等一名五百円(相

二等百名五百円

三等十名五百円

四等五十名五百円

五等百名五百円

六等一百名五百円

七等二名三千円(相

一等二名三千円(相

二等二名二千圓

三等二名一千圓

四等二名一千圓

五等二名一千圓

六等二名一千圓

七等二名一千圓

八等二名一千圓

九等二名一千圓

十等二名一千圓

十一等二名一千圓

十二等二名一千圓

十三等二名一千圓

十四等二名一千圓

十五等二名一千圓

十六等二名一千圓

十七等二名一千圓

十八等二名一千圓

十九等二名一千圓

二十等二名一千圓

二十一等二名一千圓

二十二等二名一千圓

二十三等二名一千圓

二十四等二名一千圓

二十五等二名一千圓

二十六等二名一千圓

二十七等二名一千圓

二十八等二名一千圓

二十九等二名一千圓

三十等二名一千圓

三十一等二名一千圓

三十二等二名一千圓

三十三等二名一千圓

三十四等二名一千圓

三十五等二名一千圓

三十六等二名一千圓

三十七等二名一千圓

三十八等二名一千圓

三十九等二名一千圓

四十等二名一千圓

四十一等二名一千圓

四十二等二名一千圓

四十三等二名一千圓

四十四等二名一千圓

四十五等二名一千圓

四十六等二名一千圓

四十七等二名一千圓

四十八等二名一千圓

四十九等二名一千圓

五十等二名一千圓

五十一等二名一千圓

五十二等二名一千圓

五十三等二名一千圓

五十四等二名一千圓

五十五等二名一千圓

五十六等二名一千圓

五十七等二名一千圓

五十八等二名一千圓

五十九等二名一千圓

六十等二名一千圓

</div